

「歯科技工加算創設の影響調査」調査の概要

調査目的

- ・ 歯科技工の体制整備の状況の把握
- ・ 改定後における有床義歯修理の変化等の把握
- ・ 歯科技工士の活用の効果等の把握
- ・ 有床義歯の修理に関する患者の意識等の把握

<調査のねらい>

歯科技工の体制整備の状況の把握

- ・ 常勤歯科技工士の配置時期はいつか。
- ・ 「歯科技工加算」届出時期や歯科技工室および必要な機器の整備時期はいつか。
- ・ 「歯科技工加算」の院内掲示の内容とその効果はどうか。

改定後における有床義歯修理の変化等の把握

- ・ 当該加算届出以降、施設内で修理した有床義歯数はどのように変化したか。
- ・ 施設内の歯科技工室と施設外の歯科技工所における、1か月間の「少数歯欠損」「多数歯欠損」「総義歯」の各修理日数別の有床義歯修理数はどのくらいか。

歯科技工士の活用の効果等の把握

- ・ 歯科治療の効率化を図ることができたか。
- ・ 義歯等の治療に対する患者の安心感が増したか。

有床義歯の修理に関する患者の意識等の把握

- ・ 2日以内の有床義歯修理をどのように感じるか。
- ・ 歯科技工加算の施設基準を満たしている歯科医療機関への安心感はどうか。
- ・ 歯科技工加算に関する院内掲示についての認知状況はどうか。院内掲示はわかりやすかったか。

調査対象及び調査方法

<施設調査>

- ・ 「歯科技工加算」の施設基準を届け出ている保険医療機関の中から無作為抽出した2,000施設を対象とする。

<患者調査>

- ・ 施設調査の対象施設に来院した患者のうち「歯科技工加算」を算定した患者2名(1施設あたり)を対象とする。

<調査方法>

- ・ 施設調査は、自記式調査票の郵送配布・回収とする。

- 患者調査は、自記式調査票とする。施設調査の対象施設を通しての配布とするが、回収は直接調査事務局宛での郵送回収とする。

調査項目

- 調査票（案）参照

調査スケジュール

	平成22年						平成23年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調査の設計・調査票の作成	→								
調査客体の選定			→						
調査票等の印刷・封入				→					
調査実施					→				
督促						→			
調査票回収・検票						→			
データ入力 データクリーニング							→		
集計・分析							→		
調査結果作成（速報）								→ 報告	
追加分析・調査結果作成								→ 報告	
調査検討委員会開催			★						★